

# 平成27年度 校務改善推進事業発表

## かっとで進める校務改善

か 「かさねる」  
つ 「つなげる」  
と 「ととのえる」



国立市立国立第二小学校

# 1 平成26年度の現状

## 2 校務改善の実際

ステップ1 「目標・目的の提示・説明」

ステップ2 「組織づくり・かたちづくり」

ステップ3 「教師集団による新しい教育システムの構築」

## 3 まとめ

- 「かさねる」「つなげる」「ととのえる」で進める校務改善

# 1 平成26年度の現状

子供のための豊かな環境

子供のための地域、保護者による活動

子供のための個性あふれた教育活動(教員)

安定した地域、家庭に支えられた子供たち

# かっとで進める校務改善

かさねる

つなげる

ととのえる

## 2 校務改善の実際

ステップ1 目標・目的の提示・説明

学校づくりの方針

豊かな環境を生かして

「子どもの夢を育てる学校」「自慢できる学校」



めざす学校の姿

- ① 全ての子供の可能性を伸ばし、  
自己肯定感を育てる学校
- ② 豊かな環境を生かして  
豊かな人間性と生きる力を育む学校
- ③ 地域発展の核となる活力ある学校

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

### ①2部会制の導入「かさねる」

資料① 校内組織図

**A部会** 教務＋研究

授業改善と校内研究

**B部会** 生活＋特活＋校内委員会

健全育成と高学年を育てる活動

つながりのある教育活動＋重なりを省いた組織的な計画→会議の削減

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

②二松タイム(総合的な学習の時間)の大幅な見直し「つなげる」  
教育環境の維持を目的から方法に変える

3年生・花壇

4年生・屋上

5年生・桜

6年生・ビオトープ

3年生・矢川

4年生・福祉

5年生・自然・環境

6年生・地域参画

**「学校自慢・地域自慢」** を目的とした総合的な学習の時間に

⇒活動時間の保障、目的の明確化



## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

- ③生活時程、定例会議の見直し 「ととのえる」
- 活動開始時刻の明確化  
8時「開門」「開始準備」 8時15分「勤務開始」「おはよう」
  - 週3回の夕会と月1回の企画会・主任会・  
部会、委員会を定例化
  - 週一回の経営会議と校内委員会  
月1回の経営支援会議

会議の削減・時間の工夫 ⇒ 時間の捻出

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

### 経営会議と経営支援会議

「**と**とのえる」

#### ■ 経営支援会議 第1水曜日 9時30分～10時30分

月ごとの行事の確認と学校全体にかかわる業務の調整  
役割分担の確認 OJT

校長 副校長 統括 用務 事務

副校長の校務支援⇒不明確な校務について役割を明確にする

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

### ■ 経営会議 毎週金曜日 9時30分～10時30分

週間予定表の確認と学校全体にかかわる業務の調整

役割分担の確認 OJT

校長 副校長 統括 教務 生活

資料② 週間予定表

### ■ ランチ会 給食時

校務に係る情報交換

副校長の校務支援⇒学校全体にかかわる業務を組織で行う

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

### ④「二小スタンダード」と

「特別支援教育推進計画」の作成 ととのえる

- ルール手順の標準化
- 共通理解と一斉指導
- 校内委員会と生活夕会
- 支援スタッフとの連携強化

スマイリースタッフ SC SSW 特別支援教育アドバイザー

トラブル・事故の回避 ⇒ 時間の捻出

## ステップ2 組織づくり・かたちづくり

### ⑤ 学校と地域の役割の明確化 地域力の活用と業務の整理

ととのえる

#### ○ 芝生校庭の管理 学校（芝生維持委員会事務局）

⇒ 芝生維持活動の計画と進行管理

地域・保護者 ⇒ 芝生校庭の維持管理作業

## ⑤ 学校と地域の役割の明確化 地域力の活用と業務の整理

ととのえる

- 夏季休業日中の  
サマースクール(二松クラブ)
- 集団登校
- 放課後学習教室

役割の明確化 ⇒ 時間の捻出

校務改善の実際

ステップ 3

## 教師集団による 新しい教育システムの構築

本当の校務改善

# 学校課題解決につながる 本校の取組



国立市立国立第二小学校



# 求められていること やるべきこと

文部科学省  
教育基本法  
学校教育法  
・学習指導要領

東京都の教育目標  
基本方針

国立市の教育目標  
・基本方針

国立第二小学校 学校教育目標  
・学校経営方針 (夢を育てる)  
(子供の自慢ができる)  
(子供が自慢できる)

教員が一丸となり、求められていること、やるべきことを達成していく。

**もちろん、すでに行っていて、一人一人がそのために努力している！**

**夢を育てる学校  
子供の自慢ができる学校  
子供が自慢できる学校**

どの子も落ち着いて  
学習に取り組める  
授業・学級

そのために

子供に  
かかわる事柄

- ・ 落ち着いて学ぶ環境作り
- ・ 児童が自信をもてる指導
- ・ 児童の実態にそった指導方法の研究
- ・ 外部との適切な連携
- ・ 教員の自信のある授業
- ・ 共通理解の徹底
- ・ 自閉症・情緒しょうがい固定級開設への準備



したいのだけど

**時間がない!!**

# 国立二小の校務改善

**子供にかかわる時間をもっと生み出すこと!!**

- ・子供に向き合う時間の増加
- ・教材研究の時間増加
- ・自信をもち、不安感なく学ぶ児童が育つ

相乗的な効果

教師の授業力や  
指導力の向上

その  
結果

**夢を育てる学校  
子供の自慢ができる学校  
子供が自慢できる学校**

どの子も落ち着いて  
学習に取り組める  
授業・学級

# 国立二小 七つの解決策

(すでに行い始めていること・これから行うこと)

## ①会議の効率化

- ・年度初めの共通理解
- ・企画内容の精選
- ・事前打ち合わせを計画的に実施

会議の進め方、教育活動の周知の工夫。  
事前の打ち合わせで、内容の精選。  
部会での話を各ブロック内で共有化。

## ②多角的なものの一本化

- ・学力向上
- ・校内研究
- ・特別支援

それぞれが別々のものではなく、つながりを意識し、  
同じ方向を向いて行う。

# 国立二小 七つの解決策

(すでに行い始めていること・これから行うこと)

## ③外部との関係の改善・再調整

- ・芝生維持管理委員会
- ・夏季特別講座
- ・総合的な学習の時間

地域・保護者に任せる部分と  
学校側が行っていく部分を明確化。  
校外での活動の見直し。

## ④校務分掌の見直し

- ・主任、主幹の役割
- ・部会の編成

大きな役割をもつ担当者は、統括する立場として、全体を運営していく。

## ⑤自閉症・情緒しょうがい固定級児童との交流に向けての環境を整える。

- ・教室環境の整備
- ・児童の特別支援教育に対する理解

落ち着いた学びの環境  
よさを認め合う支えあう心を育てる。

# 国立二小 七つの解決策

(すでに行い始めていること・これから行うこと)

## ⑥行事の日程調整・見直し

例 春の運動会→秋の運動会  
秋の展覧会→冬の展覧会  
同時進行している行事の精査

4・5月は学級づくりの時間に重点を置く。

### 検討課題

- ・水泳指導の時期
- ・冬の展覧会の時期
- ・各学年の行事との調整

## ⑦時間割の工夫

例 毎日ある掃除の時間を減らす等

放課後の学級事務時間の増加。  
放課後に子供と向き合う時間の増加。  
効果的なOJTの実施。

その結果として

# 子供にかかわる時間が増える

- ・ 落ち着いて学ぶ環境作り
- ・ 児童が自信をもてる指導
- ・ 教員の自信のある対応
- ・ 児童の実態にそった指導方法
- ・ 外部との連携の在り方の工夫
- ・ 共通理解の徹底
- ・ 自閉症・情緒障がい固定級開設への準備

**夢を育てる学校**  
**子供の自慢ができる学校**  
**子供が自慢できる学校**

どの子も落ち着いて  
学習に取り組める  
授業・学級

# 3 まとめ

## 国立二小の校務改善

「**か**さねる」「**つ**なげる」「**と**とのえる」で進める校務改善



# 「かさねる」「つなげる」「ととのえる」で進める校務改善

ステップ1 「目標・目的の提示・説明」

ステップ2 「組織づくり・かたちづくり」

ステップ3 「**教師集団による新しい教育システムの構築**」

# かっとで進める校務改善

## かさねる

同じ目的の仕事を重ねて仕事の数を少なくする。

## つなげる

同じ活動をつなげて一つの活動にし、活動の数を少なくする。

## ととのえる

組織や方法を整えて、無理や無駄がなくなるようにする。

ご清聴ありがとうございました。



国立市立国立第二小学校